



平成23年 1 月期 第 2 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年 9 月14日

上場会社名 CHI グループ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3159 URL <http://www.chi-group.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)小城 武彦
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員経理・財務部長 (氏名)森 孝司 (TEL)03(5225)8787
 四半期報告書提出予定日 平成22年 9 月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年 1 月期第 2 四半期の連結業績 (平成22年 2 月 1 日～平成22年 7 月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年 1 月期第 2 四半期	66,370	—	915	—	866	—	△32	—
22年 1 月期第 2 四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年 1 月期第 2 四半期	△0 54	—
22年 1 月期第 2 四半期	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1 株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年 1 月期第 2 四半期	68,760	27,200	38.5	440 14
22年 1 月期	—	—	—	—

(参考) 自己資本 23年 1 月期第 2 四半期 26,464百万円 22年 1 月期 一百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年 1 月期	—	—	—	—	—
23年 1 月期	—	0.00	—	—	—
23年 1 月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年 1 月期の連結業績予想 (平成22年 2 月 1 日～平成23年 1 月31日)

(%表示は、通期は対前期、第 2 四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	130,000	—	690	—	420	—	640	—	10 64	

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P. 4「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

新規 社（社名）、除外 社（社名）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更に伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 無

② ①以外の変更 : 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年1月期2Q	60,128,085株	22年1月期	—株
23年1月期2Q	335株	22年1月期	—株
23年1月期2Q	60,127,888株	22年1月期2Q	—株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

（※ 四半期レビュー手続の実施状況の表示）

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

（※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項）

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な原因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提条件その他の関連する事項については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

・当社は平成22年2月1日に丸善株式会社と株式会社図書館流通センターが経営統合し両社を完全子会社とする共同持株会社として設立されました。当連結会計年度が第1期となるため、前期実績及び前年同四半期実績はありません。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
【第2四半期連結累計期間】	7
【第2半期連結会計期間】	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成22年2月1日～平成22年7月31日）のわが国経済は、海外経済の改善による輸出の増加や各種経済対策を背景に、企業収益については一部の業種で回復に転じたものの、デフレの継続、雇用や個人消費の停滞に加え、円高の進行もあり、本格的な回復にはまだ時間がかかるものと思われま

す。このような状況のなかで、当社は平成22年2月1日に、丸善株式会社と株式会社図書館流通センターの共同株式移転により、両社を完全子会社として新たにスタートいたしました。

第2四半期連結累計期間につきましては、図書館向けの書籍販売や大学向けの教科書販売が順調に推移し、図書館受託館数につきましても期初より134館増加しました。また売上原価の改善や経費の削減に取り組んだ結果、売上高は663億70百万円、営業利益は9億15百万円、経常利益は8億66百万円となりました。また、子会社の本社移転費用や店舗撤退損を特別損失に計上、さらに法人税等調整額5億3百万円を計上したことなどから、四半期純損失は32百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産の残高は687億60百万円となりました。うち流動資産は468億57百万円、固定資産は219億3百万円であります。

流動資産の主な内容といたしましては、現金及び預金150億2百万円、受取手形及び売掛金155億52百万円、商品及び製品139億59百万円であります。

固定資産の主な内容といたしましては、有形固定資産111億58百万円、無形固定資産41億39百万円、投資その他の資産66億5百万円であります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債の残高は415億59百万円となりました。うち流動負債は353億6百万円、固定負債は62億53百万円であります。

流動負債の主な内容といたしましては、支払手形及び買掛金132億28百万円、短期借入金157億2百万円であります。

固定負債の主な内容といたしましては、長期借入金9億21百万円、退職給付引当金39億53百万円であります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産の残高は272億円となりました。なお、自己資本比率は38.5%、1株当たり純資産額は440.14円となりました。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は144億55百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により獲得した資金は、52億57百万円となりました。これは主に、売上債権の減少及びたな卸資産の減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は、11億8百万円となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出、敷金及び保証金の差入による支出によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は、30億38百万円となりました。これは主に、短期借入金の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

①業績予想について

平成23年1月期の通期連結業績予想につきましては、平成22年2月1日付「CHIグループ株式会社の平成23年1月期の業績予想について」により公表した内容から変更ありませんが、第2四半期連結累計期間の連結業績修正を平成22年9月8日に発表しております。

②配当予想について

当社は、株主の皆様へ安定的な利益還元を果たすことは経営の最重要課題と考えており、財務状況や連結業績を総合的に勘案した上で、適正かつ安定的に配当を実施することを基本方針としております。

当期の配当予想につきましては、厳しさを増す出版流通業界における勝ち残りのためには、現在立ち上げを予定しているデジタル化関連事業への相応の先行投資が必要であると判断し、見送りとさせていただくことといたしました。当該新規事業の収益化や事業子会社同士の経営統合シナジーの早期発現等により、早期の配当実施を目指して努力する所存でございますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要(連結の範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

《簡便な会計処理》

① 棚卸資産の評価方法

棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

《特有の会計処理》

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

当社は平成22年2月1日に丸善株式会社と株式会社図書館流通センターが経営統合し両社を完全子会社とする共同持株会社として設立されました。当連結会計年度が第1期となるため、該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

当第2四半期連結会計期間末 (平成22年7月31日)	
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	15,002
受取手形及び売掛金	15,552
商品及び製品	13,959
仕掛品	591
原材料及び貯蔵品	121
その他	1,982
貸倒引当金	△353
流動資産合計	46,857
固定資産	
有形固定資産	11,158
無形固定資産	4,139
投資その他の資産	
投資有価証券	1,902
敷金及び保証金	3,715
その他	3,669
貸倒引当金	△2,682
投資その他の資産合計	6,605
固定資産合計	21,903
資産合計	68,760
負債の部	
流動負債	
支払手形及び買掛金	13,228
短期借入金	15,702
1年内返済予定の長期借入金	360
未払法人税等	293
賞与引当金	136
返品調整引当金	321
ポイント引当金	319
その他	4,944
流動負債合計	35,306
固定負債	
長期借入金	921
退職給付引当金	3,953
その他	1,378
固定負債合計	6,253
負債合計	41,559

(単位：百万円)

当第2四半期連結会計期間末
(平成22年7月31日)

純資産の部	
株主資本	
資本金	3,000
資本剰余金	8,482
利益剰余金	15,660
自己株式	△0
株主資本合計	27,142
評価・換算差額等	
その他有価証券評価差額金	△677
評価・換算差額等合計	△677
少数株主持分	735
純資産合計	27,200
負債純資産合計	68,760

(2) 四半期連結損益計算書
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年2月1日 至平成22年7月31日)
売上高	66,370
売上原価	51,297
売上総利益	15,073
販売費及び一般管理費	14,158
営業利益	915
営業外収益	
持分法による投資利益	15
為替差益	55
不動産賃貸料	205
その他	125
営業外収益合計	401
営業外費用	
支払利息	81
不動産賃貸費用	122
支払手数料	96
その他	149
営業外費用合計	450
経常利益	866
特別利益	
貸倒引当金戻入額	35
その他	1
特別利益合計	37
特別損失	
固定資産除却損	26
店舗閉鎖損失	94
本社移転費用	33
その他	0
特別損失合計	154
税金等調整前四半期純利益	749
法人税、住民税及び事業税	210
法人税等調整額	503
法人税等合計	713
少数株主利益	68
四半期純損失(△)	△32

【第2四半期連結会計期間】

(単位：百万円)

当第2四半期連結会計期間 (自平成22年5月1日 至平成22年7月31日)	
売上高	26,497
売上原価	20,038
売上総利益	6,458
販売費及び一般管理費	7,138
営業損失(△)	△679
営業外収益	
為替差益	55
不動産賃貸料	109
その他	93
営業外収益合計	259
営業外費用	
支払利息	30
持分法による投資損失	38
不動産賃貸費用	61
支払手数料	21
その他	98
営業外費用合計	249
経常損失(△)	△669
特別利益	
貸倒引当金戻入額	33
その他	1
特別利益合計	34
特別損失	
固定資産除却損	5
店舗閉鎖損失	61
特別損失合計	67
税金等調整前四半期純損失(△)	△702
法人税、住民税及び事業税	122
法人税等調整額	△8
法人税等合計	114
少数株主利益	42
四半期純損失(△)	△859

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年2月1日 至平成22年7月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	749
減価償却費	483
売上債権の増減額 (△は増加)	4,212
たな卸資産の増減額 (△は増加)	4,721
仕入債務の増減額 (△は減少)	△4,707
その他	△78
小計	5,381
利息及び配当金の受取額	58
利息の支払額	△91
法人税等の支払額	△91
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,257
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△256
無形固定資産の取得による支出	△818
敷金及び保証金の差入による支出	△385
敷金及び保証金の回収による収入	414
その他	△62
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,108
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△2,804
長期借入れによる収入	100
長期借入金の返済による支出	△223
その他	△110
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,038
現金及び現金同等物に係る換算差額	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,109
現金及び現金同等物の期首残高	13,345
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,455

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は平成22年2月1日に丸善株式会社と株式会社図書館流通センターが経営統合し両社を完全子会社とする共同持株会社として設立されました。この結果、当第2四半期連結会計期間末において資本金は3,000百万円、資本剰余金は8,482百万円、利益剰余金は15,660百万円となっております。